

麻里布製油所における保安検査の不備について

記者各位

新日本石油精製株式会社(社長:大野 博)は、本日、当社麻里布製油所における、高圧ガス認定自主保安検査の不備について、経済産業省原子力安全・保安院より嚴重注意を受けました。

当社としては、本件を嚴肅に受け止め、高圧ガス認定制度の根幹である自主検査の重要性を改めて認識・確認いたしまして、今後このようなことがないよう再発防止に努めてまいります。関係各位には、ご心配、ご迷惑をお掛けいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

記

1. 検査不備の内容

- | | |
|---------------------------|-----|
| (1)機器の開放検査時期の超過 | 3基 |
| (2)熱交換器の点検部位の誤りによる検査時期の超過 | 4カ所 |
| (3)安全弁における検査時期の超過 | 4台 |

2. 経緯

(1)高圧ガス保安法に基づく認定検査に関する2007年度の社内監査を経て、2008年2月に上記(1)、(2)についての、また2008年8月に上記(3)についての自主保安検査不備を確認し、それぞれ直ちに所轄官庁に報告いたしました。

(2)所轄官庁の指導に基づき、速やかに所定の検査を実施し安全を確認する等の対応を行い、併せて、管理体制を強化し再発防止策を講じました。

(3)本日、経済産業省原子力安全・保安院より書面による嚴重注意を受理いたしました。

以上

本件に関するお問い合わせ先

新日本石油株式会社 広報部 広報グループ:03-3502-1124

新日本石油精製株式会社 麻里布製油所 総務グループ:0827-24-6100